

# 議 会 情 報

## 図書室委員会

4月6日、山木綾子委員から片野広隆議員に委員の変更がありました。

## 議会運営委員会

5月22日、海沼秀幸委員、荻窪利充委員から辞任願が提出され、同日、議長がこれを許可し、新たに吉敷賢一郎議員、三上喜久蔵議員を委員に選任しました。

## 川越駅周辺対策特別委員会

5月22日、三浦邦彦委員から辞任願が提出され、同日、議長がこれを許可し、新たに栗原瑞治議員を委員に選任しました。

6月26日、副委員長の互選を行った結果、樋口直喜委員が副委員長に互選されました。副委員長

の互選後、吉田光雄委員

長から委員長の辞任願が

提出され、これを許可し

ました。同日、委員長の

互選を行った結果、大泉

一夫委員が委員長に互選

されました。

## 常任委員会

5月22日、次のとおり常任委員会の所属変更がありました。

三浦邦彦議員

産業建設常任委員会から

総務財政常任委員会へ

関口勇議員

総務財政常任委員会から

産業建設常任委員会へ

## 議席の変更

6月7日、次のとおり議席が変更となりました。

小野澤康弘議員 第21番

吉田 光雄議員 第27番

### 川越市における同性カップルの「パートナーシップの公的認証」に関する請願 一採 択一

#### 請願第1号

提出者 請願共同代表者 川越市脇田本町9-9 (1102号室) 古積 健  
川越市脇田本町9-9 (1102号室) 相場 謙治 ほか2828名

#### 【概 要】

レズビアン（女性に惹かれる女性）、ゲイ（男性に惹かれる男性）、バイセクシュアル（両方の性を好きな人）、トランスジェンダー（もともと性と別の性を生きたい・もしくは生きている人）の頭文字をとった総称を「LGBT」といい、そうした「セクシュアル・マイノリティー（性的少数者）」に当たる人は人口の5%ほど、20人に1人いるとされてきました。

今、川越市には声を出さずにひっそりと生きることを余儀なくされている性的少数者の当事者が多く居住しているはず。いかなる人間も一人では生きていけません。家族を営むことは人としての根源的な人権です。同性と親密な関係を築きたい人を、そこから排除することは、不当な差別にもつながります。

多様性が都市の魅力形成する重要な要素として認識されている世界では、LGBTの人たちにそうでない人と同様の権利を与えることは当然で、近年ではそれに加え、当事者にとって活躍しやすい社会づくりに向けてさまざまな法律が次々と生まれている状況です。

観光都市そして国際都市たる川越市は、2020年の東京オリンピックの開催都市でもあり、人権を尊重する都市として認められることは、市民のプライドの醸成にもつながるでしょう。国際オリンピック委員会は、オリンピズムの根本原則に「性的指向による差別の禁止」を明文で盛り込みました。私たちは、川越市がオリンピズムの根本原則にのっとり、同性カップルを含む「パートナーシップの公的認証」のための制度を作することを希望しています。そのことがLGBTへの理解の促進、差別の解消につながり、性的少数者が自分らしく生きられる社会の実現に近づくことができるばかりか、他の自治体や国、企業に対して大きなインパクトを与えることになると考えます。

これらの動きは日本の自治体や企業にも波及しており、東京都渋谷区・世田谷区、三重県伊賀市、兵庫県宝塚市、沖縄県那覇市、北海道札幌市、福岡県福岡市で同性パートナーの認証制度が開始されています。国レベルでも超党派のLGBT議員連盟が発足し、自民党、公明党、民進党などでも特命委員会などが活動を始めています。民間企業では、同性カップルにも異性間の結婚と同様の福利厚生が適用されており、生命保険会社では同性カップルも死亡保険金の受取人として指定することを認めるようになってきています。

性的少数者は、これまでさまざまな行政サービスの対象から外されてきましたが、全ての川越市民が「住むことに誇りを持ち、住んでよかったと思えるまち」と思えるよう、以下の施策を積極的に進めていただきたいと思います。

1. 川越市でも、同性同士で生活する者も家族として扱う「パートナーシップの認証制度（仮称）」を創設し、その存在を公に認める方策をとることにより、川越市を性的少数者にとっても住みやすい、魅力ある観光都市、国際都市にしていきたい。
2. 川越市が、婚姻や事実婚などの関係にある異性カップルを「家族」という単位で供与するサービスや事務にはどのようなものがあるのか、具体的に精査することを求めます。その上でそれらのうちどれが同性カップルにも適用が可能かについて提示していただきたい。
3. 川越市の教育、福祉、医療、就業、その他の行政活動において、性自認（GI）、性的指向（SO）による差別を許さないための諸施策を講じていただきたい。